

松波小学校だより

第7号
令和5年1月31日
能登町立松波小学校

毎日が種まき

学校も1年の最終ラウンドを迎え、先日全職員で道徳教育について話し合いました。その際松波小学校の児童の現状を踏まえた上で、よいところ、改善したいところを挙げていきました。

よいところ : 素直 優しい 人なつこい まじめ あいさつがうまい
改善したいところ : 消極的 あきらめやすい 前に立つ勇氣

このような強み、弱みがある児童を学校教育を通してどう成長させるか、この後外部から講師を招いての研修もしながら、道徳をはじめとする各教科や全ての教育活動の中で児童の心を耕し、よりよく生きる児童を育てるよう努めます。

例えば、規則を守る大切さを学習したから、子どもたちがすぐ廊下を歩くようになるかというとなんともいいきません。よりよく生きようと行動できたり、態度に現れたりするのはずっと後になることもよくあります。大人になってからできるようになることもあるかもしれません。しかし、1時間1時間の授業を大切に、指導を行い「まいにちが種まき」のつもりで、芽が出て、花が咲き、実をつけるまで、地道に水をやり、太陽に当て、肥料をやり続けるように継続して指導していきたいと考えています。



校長室の机の上には、右上の写真のように

「まいにちが種まき」と書かれたカードが飾ってあります。

これは、何年も前にある校長先生からいただきました。いろいろなメッセージのカードがあったのですが、「このメッセージは、前田さんに。」といただきました。

思うような成果が出ないときや、きれいな花を期待しすぎる日は「まいにちが種まき」と思うことにしています。

令和5年1月

松波小学校 校長 前田 稔子